

人材育成研修 初級者研修 事後アンケート結果

日時 : 平成 28 年 12 月 6 日 大隅半島会場 (錦江町文化ホール)

第 1 部「身体観察の基礎知識」古城裕喜氏

Q 1. 理解できましたか (16 名中) (名)

1. よく理解できた	15
2. 理解できた	0
3. ふつう	1
4. あまり理解できなかった	0
5. 全く理解できなかった	0

Q 2. 今後役立てそうですか (16 名中) (名)

1. よく理解できた	15
2. 理解できた	0
3. ふつう	1
4. あまり理解できなかった	0
5. 全く理解できなかった	0

印象に残った内容

- 低血糖やうつ熱などについての知識を持っていなかったのが勉強になりました
- わかりやすく説明していただいた(質問に対しても)
- 脱水症状の判断の方法
- バイタルサインの重要性の再確認ができました
- 心筋梗塞・狭心症
- 意識はないが呼吸・脈拍・血圧が安定している
- いつもバイタル測定をしていたがどこまでがバイタルなのか分かった
- 自分ではわかっていることが多かったが、教えられることが多く、理解でき処置の仕方もわかりやすかったです
- 状態の観察時のチェック方法⇒脳卒中の観察ポイント 脱水チェック
- 病気の早期発見や変化時に役立ち、ありがたい内容が多かったです
- 「なんだかいつもと違う」発見ができるように頑張りたい。知識・技術面の内容が多く私自身とても参考になった
- 転倒事故があった際の対応の仕方(安静体位・骨折の観察ポイント、外傷出血・表皮剥離など)特に表皮剥離があった際の対応の仕方は勉強になりました
- 急変時の対応を把握できた
- やってはいけない介護を学習できた
- とても優しくそうであり講義内容もとても分かりやすかったです。ぜひまたお願いします

- 現場を離れた時期が長いので、今日学習することで再確認することができました、忘れていた部分が多かったでした
- 急変時の対応(わかっているようでいざとなったら難しそう)
- 脱水のチェック法 脳卒中のチェック法
- 何気の毎朝計っていたバイタル 少しの変動に気づき利用者に接していきます
- 転倒事故の対応、事例・浴室の掃除をしているとホールから「ドスン」と音がした。どんな観察をしたら良いか勉強になった

第2部「認知症の基礎知識」片平知博氏

Q1. 理解できましたか (16名中) (名)

1. よく理解できた	13
2. 理解できた	2
3. ふつう	1
4. あまり理解できなかった	0
5. 全く理解できなかった	0

Q2. 今後役立てそうですか (16名中) (名)

1. よく理解できた	12
2. 理解できた	4
3. ふつう	0
4. あまり理解できなかった	0
5. 全く理解できなかった	0

印象に残った内容

- 自分が認知症になったときにどんな気持ちになるだろう？という視点から考えることができました
- 認知症と一言言ってもやはり難しいと改めて感じました
- BPSDもう一度見直し実際の利用者様へのケアにつなげたいと思います
- 認知症の中核症状とBPSD
- 具体的な対応の7つのポイント
- BS法でグループワークをしいろいろな意見を出しいろいろと分かった
- グループワークでのいろいろな意見が出たり話し合いもできた
- 認知症について自分の思っていたことがわかりやすく理解できた
- グループ討議の中で現場での認知症支援の問題事例」と似ているようなけい一すがあり参考になった
- 他職種との交流もでき情報交換もできた
- グループワークをしたことによって認知症への理解が深まりました
- 知らなかった認知症の障害を理解できた
- ユニークな方で楽しく学びました。ありがとうございました

- 四大認知症についてわかりやすかったこと
- 対応する7つのポイントがわかりました
- 中核症状と周辺症状
- BS法（いろんな意見が聞ける）
- グループになりテーマがあり、現場やスタッフさんの考え・意見があり勉強になった

第3部「対人援助のケア技術」中津詩穂氏

Q1. 理解できましたか（16名中）（名）

1. よく理解できた	12
2. 理解できた	4
3. ふつう	1
4. あまり理解できなかった	0
5. 全く理解できなかった	0

Q2. 今後役立てそうですか（16名中）（名）

1. よく理解できた	12
2. 理解できた	4
3. ふつう	0
4. あまり理解できなかった	0
5. 全く理解できなかった	0

印象に残った内容

- 利用者の困ったところにだけ目が行ってしまっている現状に気づかされた
- 改めて対人援助という難しさを感じまた初心に戻って利用者様の立場、思いを考えケアにあたりたいと思いました
- 認知症の行動心理症状
- 認知症の人と介護者との間に起こる悪循環
- 対人援助のケア、利用者の方の気持ちをもっと考えようと思います
- 認知症の方の見方によって介護者の接し方で違ってくる
- 本人の気持ちを理解し話を聞くなどよくわかった
- 教えてもらったことを発揮できるようにしたい
- 自分自身の自己覚知
- 利用者様の自己覚知➡自立支援につなげる
- 本人の認知が進行していると拒否や沈黙が多くなっているが「認知症の人の思いや物語を心で聞くこと」が大切。利用者本位の首長や意向を聞き、自己尊重を重視する
- 対人援助職の私たちに必要なものの理解、認知症の方一人ひとりのかわり方、理解をすることの大切さを理解できました。今までは本当の意味で理解はできていなかったけど、この講習を受けて理解することが大事だと思った

- 認知症の方との接触する方法等を理解できた
- 認知症の人の心を理解することが大事だと分かった
- 母性の管理者の方ということで新鮮でした。学んだことを明日より活かしていきたいと思います。
- 介護経験が短いのでどのようにかかわっていったよいかかわからず不安でしたが、今日の講義を聴いてすごく勉強になりました。具体例を話してくださったので理解しやすかったです
- B S法の重要性
- 聞けばわかることでも自分の口からは出ないことが多い
- 認知症の方への対応 スタッフの都合だけで進めてはだめ ゆっくり話を笑顔で
- 事例で「お風呂に誘ったけど」～グループでいろいろな事例が出てどう対応してよいか勉強になった